

大会本部設置細則

本部構成

- 対戦チームの保護者（男女問わない）各2名～3名で構成する。
- 役員、審判部の協力（役員・審判員は出来る限り各会場を回れるように努めること）

運営に関する取り決め

1. 試合開始予定時間の**1時間前**に集合すること。
2. **開会式、閉会式は、審判部が運営に当たる。**
3. 試合時間を計る時計は本部担当者が管理する**計測用タイマー**を唯一のものとする。但しタイマーに故障が発生した時はこの限りでない。

4. 審判員の確認

試合開始30分前までに確認する。（但し2試合目、3試合目がある場合は前の試合の4回終了時にメンバー表交換を行ないますので、交換までに審判の確認を済ませてください。

審判には「**審判証**」の提出を受け**審判位置・服装**を確認する。

「審判証」は試合終了後に記入押印のうえ返してください。

5. **メンバー表（打順表）の提出**及び登録原簿の**チェック**について

- メンバー表（打順表）と登録原簿のチェックは各相手チームを行なう。

大会規約並びに取り決め事項第6条（別表2-1 本部設置細則）

○2 試合目、3 試合目のチェック及びメンバー表（打順表）交換は、各試合の本部担当者で行う。

○**第一試合目** 試合開始予定時間 30 分前までに終わらせて置く。

（試合開始 3 5 分～40 分前頃に本部に来てもらうのが良い）

○**第二試合目** 前の試合 4 回終了時メンバー表（打順表）のチェック、交換を行なう。

○**試合が連続するチーム**がある場合 連続するチームは、試合終了後速やかにメンバー表（打順表）のチェック及び交換を行なうこと。（目安：試合終了後 15 分以内）その際に試合開始時間を審判と相談の上決定してください。連続しないチームは、前の試合が終了するまでにメンバー表（打順）のチェックは済ませて置くこと。

メンバー表の提出枚数

放送のある場合 5 部（本部 2・球審・責任審判・相手チーム）

放送の無い場合 4 部（本部 1・球審・責任審判・相手チーム）

6. 準決勝・決勝の試合は放送をすることとします。

（一回戦から試合を盛り上がらせる意味で放送するのは差し支えありません）

一塁側チームの本部担当者の役割

① 記録書式No.1 の記載（得点・審判・投球イニング・タイム回数）

大会規約並びに取り決め事項第 6 条（別表 2-1 本部設置細則）

② 放送関係

1.メンバー表の交換呼び出し。(アナウンスマニュアル P.3)

アナウンス

『監督とキャプテンは、メンバー表の交換を行ないますので、メンバー表
4部（放送する場合5部）、試合球2球をもって本部までお越しく下さい。』

2.シートノックのある場合

試合開始20分前から後攻チームから行なうことを伝えスムーズに進行できる

ようにしてください。(アナウンスマニュアル P.3)

3.集合準備 (試合開始5分前に)

アナウンス (審判の準備OKか球審に確認の上アナウンスしてください)

『両チーム、集合準備をしてください。』

③ 審判員への給水

アナウンス

『審判員の皆様、給水の準備ができましたので本部までお越しく下さい。』

○原則4回終了後、但し夏日等の場合審判員と試合前に決めておいてください。

○給水準備は、原則一塁と球審を一塁側担当チーム、二塁と三塁を三塁側担当
チームが行なう。

④ 投球イニング数の確認 (勝チームが、同日次の試合がある場合)

大会規約並びに取り決め事項第6条 (別表2-1 本部設置細則)

アナウンス

『() チームの監督さんは、投手の投球イニングの確認をしますので

本部までお越しください』

- ⑤ 審判証の確認と返却
- ⑥ メンバー紹介～試合終了まで**すべてアナウンス**する場合（準決勝・決勝）

記録書式No.1 は、**三塁側チーム本部担当者が行なう**こととする。

三塁側チームの本部担当者の役割

- ① 記録書式No.2 の記録の記載（打席チェックシート）
- ② インジケーターでカウント等の管理をし、球審等から確認された際の責任応答者。
- ③ 試合時間の管理
 - 球審の「プレイ」のコールと同時にタイマーのスイッチを入れる。開始時間（何時何分）も確認し一回終了時に**アナウンス**する。
 - 試合時間が過ぎた場合は球審に伝える。（残り時間を少し前に、あと○分ですと球審に伝えて置くことも進行上必要と思われる）
- ④ 給水準備は、原則一塁と球審を一塁側担当チーム、二塁と三塁を三塁側担当 チームが行なう。
- ⑤ タイブレイクに入るような状況であれば、そのイニングの最終打者の確認を行なうこと。
- ⑥ タイブレイクに入った場合は、打者、走者が所定の塁についたか、背番号を塁審に明示させ確認し間違いなければ球審に伝える。
- ⑦ 一塁側本部担当者がメンバー紹介～試合終了まで**すべてアナウンス**する場合は、

記録書式No.1 の記載（得点・審判・投球イニング・タイム回数）も担当する。

（準決勝・決勝は放送が入りますので、すべて記録は三塁側になります）

大会規約並びに取り決め事項第 6 条（別表 2-1 本部設置細則）

次の担当者との引き継ぎ等

- ① 記録書式はバインダーに挟み、それぞれ次の担当チームに引き継ぐ。(一塁側チームは一塁担当になるチームへ三塁側チームは三塁担当になるチームへ、最終はそれぞれの勝ち残りチームが備品等も含め全てを引き継ぐこととなります) 引き継ぐ際は、必ず引き継ぎ表によりチェックをしてください。
- ② 第2試合目、第3試合目に本部担当するチームは、前の試合4回終了時にメンバー表の交換を行ないますのでご注意ください。

参 考

「大会規約並びに取り決め事項」第7条10項

第二試合以降は、試合開始時刻前でも前の試合が終了した後 20分を目安に次の試合を開始する。但し試合が連続となる時は 30分とする。

「大会規約並びに取り決め事項」第11条1項

試合時間

- A級の試合 100分以内 (スポーツ少年団の試合 90分以内)
- B級の試合 90分以内
- C級の試合 70分以内

平成 31 年 2 月

田辺・西牟婁学童野球協議会

